

## 次年度への助走



柏門技術士会  
会長 小林洋一

立春も過ぎて梅がほころぶ季節となりました。  
今期の活動を振り返り、次年度活動への助走を始めたいと思います。

今期活動で特筆すべきことは、昨年 3 月に顧問交流会と題して、学内の諸先生方へ技術士制度・技術士についての説明会を初めて行いました。先生方からは「学生に対して受験科目を詳しく説明し、自分の勉強している分野との関連を認識させるような広報活動が必要である。」とご意見を頂きました。また、顧問の先生方への委嘱状の発行も柏門技術士会へのご理解を深めて頂けたと思っています。引き続き顧問の諸先生ならびに事務局側も含めて、学内へ「技術士制度」の普及啓発活動をすすめてまいりたいと思っています。

平成 26 年度から実施した「学部生の技術士第一次試験合格者への支援制度」について、校友会へご協力をお願いして一定のご理解を得ることができました。これは大きな成果です。次年度には確実に合格者増を出すべく、具体的施策をすすめていかねばなりません。

昨年 10 月には環境学部からのご要請に応じて、「環境・建設コンサルタントという仕事」と題しての講演を行いました。合わせて、技術士第一次試験合格者から合格体験談も行いました。この横浜キャンパスでの成果を踏まえて、次年度は環境学部のキャリア支援を目的として、技術士第一次試験受験ガイドスならびに模擬試験などの具体的な施策をすすめていきたいと思っています。

最後に朗報です。若い会員の方々も少しずつ加入しています。特に技術士第一次試験合格者の修習技術者としての新規加入は大変嬉しく思っています。鮎の遡上の如くです。 了